



# 深江中学校だより

令和5年12月22日

第10号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～  
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

## 県中文祭島原・雲仙・南島原大会の舞台部門で2年生が学年合唱を披露！

11月17日（金）、島原市の有明総合文化会館にて「第18回長崎県中学校総合文化祭島原・雲仙・南島原大会」が開催され、舞台部門に本校の2年生が出演して学年合唱を披露しました。

11月8日に本校で行った文化発表会（合唱コンクール）の課題曲「ほらね、」と、この日の発表に向けて練習した「ふるさと」の2曲。特に、「ふるさと」はアカペラに挑戦しました。出番前、生徒は緊張の面持ちでしたが、大勢の観衆を前に堂々とした歌声で、大きな拍手をもらいました。

中文連会長様や来賓の方々から、「たいへん素晴らしかった。」「感動した。」「舞台部門のトリを飾るに相応しい立派な合唱だった。」など、お褒めの言葉をいただき、私自身、たいへんうれしく感じた次第です。生徒の感想からも、一人一人が手ごたえを感じている様子がうかがえました。

更にこの日、2年生30名は、受付や来賓対応の係を務め大会の運営に一役買いました。初めて経験する生徒がほとんどで、戸惑いや大変さを感じながらも、立派にやり遂げていました。担当の市内校長先生方からも、「深江中の2年生は素直な生徒ばかりでした。」「慣れない仕事なのによく頑張っていました。」「大きな声と笑顔で対応してくれました。」と声をかけていただきました。

また、本校の1年生も、展示部門（絵画や書写など）・舞台部門の鑑賞生徒として参加しました。日頃は、文化活動に触れる機会が少ない中、今回貴重な経験ができた1・2年生。今後、その経験を生かして様々な場面で活躍してくれることと思います。



### < 2年生の感想 > ※一部抜粋・編集

- 本番の合唱は、最後の発表だったけど、同じ中学生がみんな発表を頑張っていたから、緊張せずに歌えた。曲を歌い終わった後の拍手がとてうれしかった。合唱の後に、たくさんの先生から褒めてもらうことができたから、今まで頑張った良かったと思った。
- 舞台部門は、全部レベルが高く、期待通りだった。特に、吹奏楽や和太鼓は迫力があって、会場中に音が響き渡っていた。弁論は難しい題材なのに、スラスラと意見を述べていて、さすがだと思った。演劇は、同じ中学生とは思えないほどの演技で、見ていて飽きなかったし、続きの劇も見たいくらいすごかった。司会者の中学生もよく頑張って、スムーズに進行していた。
- 係の仕事は、初めてする仕事でとても不安だったけど、最後まで楽しく仕事できました。明るい挨拶と自分の役割を責任をもって果たすことは、これからの学校生活にも生かしたい。